

中北小学校 学校だより

# そったく き 啐啄の機

No. 1

令和2年4月23日(木)

上天草市立中北小学校

文責：横山

## 新学期のスタート

3月からの臨時休校・春休みが終わり、4月8日より新学期がスタートしました。子どもたちの元気な声と輝く笑顔に、やはり学校の主人公は子どもたちであると思いました。保護者の皆様には、お子様のご入学、進級おめでとうございます。

4月8日の始業式では、子どもたちに次のような話をしました。

新学期を迎えてみなさんに大切にしたいことがあります。それは3つの「合い」です。一つ目は「学び合い」です。学校はみんなで学び合う場です。自分が分かってること、できることがあったら、困っている友達に教えてあげましょう。また、分からないときは、友達にお尋ねをしましょう。そして、みんなで伸びていきましょう。

二つ目は「助け合い」です。きっとみんなは目の前に困っている友達がいたら優しく手をさしのべてくれるでしょう。それだけでなく、目の前に人がいなくても、それをやることで誰かが助かるということを見つけて、進んで行動していきましょう。

三つ目は「高め合い」です。自分が「苦手だな、めんどくさいな」と思うことに、心の弱さに負けずに挑戦しましょう。誰かが苦手なことをがんばっていると、周りの友達は「よし、自分もがんばろう」という気持ちになります。自分が挑戦することは、自分を伸ばすだけでなく、仲間も伸ばすことになります。

この「学び合い」「助け合い」「高め合い」の三つの「合い」で、『愛』があふれる中北小学校をみんなで創っていきましょう。

本年度は学校目標を「なかよく、かしこく、きまり正しく、たくましく、光輝く中北の子」とし、「思いやりのある子ども」「夢中で学び合う子ども」「自分の責任を果たす子ども」「最後までやりぬく子ども」の育成を目指し、職員一同全力で取り組んでいきます。

さらに「全ては子どものために」を学校スローガンとし、全職員でとことん子どもたちと関わっていきたいと思っています。子どもの健全な成長を促すには、学校と家庭・地域が共に協力し合い、連携し合っていくことがとても重要です。どうぞ温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 入学おめでとう！ようこそ1年生♪

4月9日(木)は入学式でした。新入生9人が入学してくれました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓や在校生が参列できず、簡素化した式次第での式となりました。新1年生はみんなとてもお行儀がよく、話を聞く態度も立派でした。氏名報告ではみんなハキハキと「はいっ」と元気な返事ができました。式では「あいさつをしっかりとしよう」「なかよくしよう」「話をよく聞こう」という3つのお願いをしました。早速次の日からは立派な一年生として、あいさつや勉強を頑張ってくれました。



## 臨時休校

新学期が始まり、子どもたちは張り切って登校してくれていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月15日から5月6日まで臨時休校となってしまいました。学校は休みとなりますが、それぞれのご家庭で、リズムある規則正しい生活を送っていただき、健康管理に十分ご注意願います。そして、学校が再開したら、しっかり勉強をがんばって、友達と仲良く、元気に学校生活を送って欲しいと思います。

なお、次の登校日である4月30日（木）の後、今のところ5月7日（木）から学校を再開する予定です。しかし、今後の状況によってはさらに変更されることも予想されます。休業中の様々な連絡は安心メールにてお伝えしますので、よろしくお願いいたします。

## ごあいさつ

校長 横山幸生

令和2年度の定期人事異動で中北小学校に着任いたしました。歴史と伝統ある中北小学校に赴任できた喜びを心よりかみしめております。まずは前任の北原茂校長先生、教育熱心で学校を大切に思ってくださいる保護者や地域の皆様方がつないでいらっしやった中北小の文化・教育をしっかり継承していきたいと思います。さらに、その上で、保護者や地域の皆様と新しい絆を築き、子どもたち一人一人が自分らしく輝き、健やかに成長できるよう職員と一丸となって精一杯、努力して参りたいと思います。

さて、本年度の学校だよりのタイトルを「啐啄の機」といたしました。「啐」とはヒナ鳥が卵からかえろうとしているときに内側からつつく音を表し、「啄」はそれに合わせて親鳥が外から卵をつつく音を表します。このヒナ鳥と親鳥が内側と外側からつつくタイミングが重要で、それが一致したとき殻が破れてヒナ鳥は生まれてくることができます。

このように、両者の動作が一致することで目的が達成される「両者が合い応じる得がたい好機」のことをいい、「啐啄同時」ともいいます。殻を破ろうとするヒナ鳥は中北小の子どもたちです。それを導く親鳥が保護者や地域の皆様、そして我々中北小の職員です。機に依じて「啄」を行うには、しっかりと子どもを見取り、音なき「啐」を感じ取ることが大切です。導く三者が一致団結して協力し合い、子どもの成長を促していきたいという願いを込めてこのタイトルとしました。どうぞよろしくお願いいたします。

## よろしくお願ひします。

令和2年度中北小学校職員

校長	横山 幸生（熊本市隈庄小より）	教頭	川上 しげり（2年目）
1年担任	岩本 沙央里（宇城市河江小より）	2・3年担任	松本 隼人（3年目）
4年担任	楠田 一心（5年目）	5・6年担任	村田 梨恵（4年目）
ひまわり学級担任	森下 慎太郎（2年目）	事務職員	松下 大地（3年目）
養護助教諭	吉村 輪子（2年目）	学習支援員	直江 尚美（4年目）
特別支援教育補助員	岩本 咲子（維和中より）		
学校用務員	草田 賢二（2年目）		
この他に			
英語専科	濱本 真美子	図書館司書	塚本 幸男
A L T	エイミー・シロマ、ケリー・ガースライト		

「全ては子どものために！」

～力を合わせてがんばります～